

## 集計結果

### 都道府県循環器病対策推進計画の指標の設定及び達成状況に関する調査

#### ◎回収状況

調査対象数	47
有効回収数	47
有効回収率	100.0%

#### 1. 循環器病対策の検討・評価に係る体制

##### ①会議体に参加している構成員

＜主管課の名称＞

略

#### ＜庁内の連携先の関係部局＞（参加している構成員に○）※複数回答

	回答数	割合
1.衛生主管部局	36	76.6%
2.介護保険部局	16	34.0%
3.教育行政関係部局	11	23.4%
4.その他	20	42.6%
無回答	6	12.8%
合計	47	100.0%

##### 「その他」の具体的内容

消防担当部局、危機管理防災局、県土整備部、福祉保健部地域医療政策課、高齢福祉保健課、救急搬送関係部局（危機管理部消防課）、労働関係部局（産業労働部労働雇用課）、商工労働部局、衛生主管部局、介護保険分局、教育行政関係部局、国保、商工観光労働部局 等

#### ＜庁内の連携先の関係部局＞（参加している構成員に○）※複数回答

	回答数	割合
1.消防本部	35	74.5%
2.循環器病経験者（患者等）	41	87.2%
3.医療機関	44	93.6%
4.医師会等の職能団体	47	100.0%
5.大学・研究機関	43	91.5%
6.市町村	32	68.1%
7.管轄保健所	14	29.8%
8.その他	24	51.1%
無回答	0	0.0%
合計	47	

##### 「その他」の具体的内容

職能団体	県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会、県理学療法士会、県介護支援専門員協会、介護支援専門員協会、栄養士会、リハビリテーション専門職協議会、医療ソーシャルワーカー協会
保険者	県国保連、医療保険者、保険者協議会
医療関係	予防医学協会、日本脳卒中協会都道府県支部、リハビリテーションセンター、健診機関
介護関係	地域包括ケア支援センター、居宅介護支援事業所代表
労働関係	労働局、労働関係機関、産業保健総合支援センター
消防関係	消防長会
その他行政	県保健所長会
その他	食生活改善推進員協議会、保健補導員会協議会、患者会

「3.医療機関」の内訳（参加している構成員に○）※複数回答

	回答数	割合
医師（循環器内科/心臓外科）	43	91.5%
医師（脳神経内科/脳神経外科）	42	89.4%
医師（救急科）	18	38.3%
医師（その他診療科）	16	34.0%
歯科医師	22	46.8%
看護職員	29	61.7%
薬剤師	21	44.7%
（管理）栄養士	14	29.8%
理学療法士	26	55.3%
作業療法士	14	29.8%
言語聴覚士	8	17.0%
社会福祉士	10	21.3%
その他	14	29.8%
無回答	3	6.4%
合計	47	

「その他」の具体的内容

医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員、国民健康保険団体連合会、保健師、県医師会 等

②開催実績（令和5年度・令和6年度の開催回数）

	回答数	平均
令和5年度	47	3.3回
令和6年度 ※予定を含む	47	1.3回

2. 都道府県循環器病対策推進計画で採用している指標とその評価

(1) 貴都道府県の循環器病対策推進計画（第2期）が掲載されているURLをご記入ください。  
略

(2) 循環器病対策推進計画（第2期）において、ロジックモデルを採用していますか。（採用しているものに○）

	回答数	割合
①脳卒中ロジックモデル	35	74.5%
②循環器ロジックモデル	38	80.9%
合計	47	

(3) 第1期及び第2期循環器病対策推進計画で採用している指標及び目標値・実績値についてお伺いします。  
別シート参照

(4) 第1期から第2期への見直しの際に、進捗状況の評価に変更（例：ベースライン値、目標値の変更、評価方法の変更等）はありましたか。脳卒中、心血管疾患のそれぞれについてご回答ください。

①脳卒中について  
予防・啓発

	回答数	割合
変更があった	30	63.8%
変更はなかった	16	34.0%
無回答	1	2.1%
合計	47	100.0%

変更の具体的内容（例）

- ・塩分摂取量の目標値を8 g→7 g未満
- ・ハイリスク飲酒者の割合の目標値を県のアルコール健康障害対策推進計画に合わせて修正 など

### 救護

	回答数	割合
変更があった	21	44.7%
変更はなかった	22	46.8%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

### 変更の具体的内容（例）

- ・脳卒中に関する医療連携への参加機関数の追加
- ・t-
- PAによる脳血栓溶解療法実施可能機関数の追加
- ・専門・認定看護師数の目標値の見直し など

### 急性期

	回答数	割合
変更があった	26	55.3%
変更はなかった	17	36.2%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

### 変更の具体的内容（例）

- ・脳卒中相談窓口の設置に関する指標を追加
- ・脳血管疾患患者の年齢調整死亡率の目標値について、男女別の数値とした など

### 回復期

	回答数	割合
変更があった	23	48.9%
変更はなかった	18	38.3%
無回答	6	12.8%
合計	47	100.0%

### 変更の具体的内容（例）

- ・歯科訪問診療を実施する施設数（人口10万人対）、両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数（人口10万人対）、SCR
- における脳血管疾患等リハビリテーション料、脳卒中
- ・心臓病等総合支援センターの相談支援患者数を追加

### 維持期・生活期/慢性期

	回答数	割合
変更があった	27	57.4%
変更はなかった	15	31.9%
無回答	5	10.6%
合計	47	100.0%

### 変更の具体的内容（例）

- ・指標「訪問看護ステーション数」の削除
- ・在宅（生活期）にかかる指標として退院調整支援担当者を配置する診療所数・病院数を追加 など

### 再発・重症化予防

	回答数	割合
変更があった	16	34.0%
変更はなかった	24	51.1%
無回答	7	14.9%
合計	47	100.0%

### 変更の具体的内容（例）

- ・介護職員数の削除
- ・科歯科連携の推進として、連携歯科医療機関数の増加を目標として追加
- ・脳卒中リハビリテーション看護認定看護師、脳卒中認定看護師の実数の増加を目標として追加 など

### ②心血管疾患について

#### 予防・啓発

	回答数	割合
変更があった	30	63.8%
変更はなかった	15	31.9%
無回答	2	4.3%
合計	47	100.0%

### 変更の具体的内容（例）

- ・県民の食生活、健常行動に関する指標を追加（食塩摂取量、野菜摂取量、日常生活における歩数、家庭血圧の測定、自己検診など）
- ・糖尿病有病者の増加の抑制（目標値追加）
- ・かかりつけ医がいる者の割合の増加（目標値追加）

### 救護

	回答数	割合
変更があった	22	46.8%
変更はなかった	21	44.7%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

### 変更の具体的内容（例）

- ・心筋梗塞患者に占める病院到着前死亡者の割合（ペースライン値及び目標値変更）
- ・新たに「循環器病啓発に係る県HPへのアクセス数の増加」の指標を立てた など

### 急性期

	回答数	割合
変更があった	27	57.4%
変更はなかった	17	36.2%
無回答	3	6.4%
合計	47	100.0%

### 変更の具体的な内容（例）

- ・現状把握の指標として「心不全緩和ケアトレーニングコース受講者数」、「慢性心不全の再発を予防するためのケアに従事している看護師数」、「歯周病専門医が在籍する医療機関数」、「心不全地域連携バス・手帳の発行件数」を追加 など

### 回復期

	回答数	割合
変更があった	25	53.2%
変更はなかった	18	38.3%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

### 変更の具体的な内容（例）

- ・自立支援型地域ケア会議の開催回数（評価指標削除 など）
- ・心不全看護認定看護師に関する指標を追加
- ・「入院心血管リハビリテーションの実施件数」「外来心血管リハビリテーションの実施件数」を目標値に

### 維持期・生活期/慢性期

	回答数	割合
変更があった	28	59.6%
変更はなかった	15	31.9%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

### 変更の具体的な内容（例）

- ・緩和ケアについて、県民が循環器病も緩和ケアの対象であることを知っている、について増加を目標として追加
- ・かかりつけ医における連携バスの利用件数を数値目標から削除 など

### 再発・重症化予防

	回答数	割合
変更があった	18	38.3%
変更はなかった	23	48.9%
無回答	6	12.8%
合計	47	100.0%

### 変更の具体的な内容（例）

- ・医科歯科連携の推進として、連携歯科医療機関数の増加を目標として追加 など

## 3. 地域の実情に応じた循環器病対策の立案・実施・見直しの状況

(1) 第一期循環器病対策推進計画から継続的に、地域の実情に応じて、（基本計画にはない、）都道府県独自に立案している対策はありますか脳卒中、心血管疾患のそれについてご回答ください。

#### ①脳卒中について

##### 予防・啓発

	回答数	割合
独自の対策がある	15	31.9%
独自の対策はない	30	63.8%
無回答	2	4.3%
合計	47	100.0%

##### 独自の対策（例）

- ・県民、事業者・労働担当者向けに各セミナーを開催している。
- ・県民の脳卒中の初期症状の認知度の調査を行っている。
- ・脳卒中情報システム事業による脳卒中発症者に対する

#### 救護

	回答数	割合
独自の対策がある	8	17.0%
独自の対策はない	35	74.5%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

##### 独自の対策（例）

- ・ドクターヘリに関する医療機関及び消防機関等との緊密な連携体制の構築
- ・救命救急士の養成、生涯教育体制の充実 など

#### 急性期

	回答数	割合
独自の対策がある	7	14.9%
独自の対策はない	35	74.5%
無回答	5	10.6%
合計	47	100.0%

##### 独自の対策（例）

- ・遠隔地の救急搬送や在宅医療における遠隔診療及びオンライン診療の普及のため積極的にICT技術を導入する。 など

### 回復期

	回答数	割合
独自の対策がある	6	12.8%
独自の対策はない	36	76.6%
無回答	5	10.6%
合計	47	100.0%

### 独自の対策（例）

- ・関係機関と連携して回復期のデータ集約支援を行っている。
- ・各病院が目指す方向性として「断らない病院」と「面倒見のいい病院」という2つの目標を示し、各病院が機能分化と機能強化を進めている。など

### 維持期・生活期/慢性期

	回答数	割合
独自の対策がある	8	17.0%
独自の対策はない	34	72.3%
無回答	5	10.6%
合計	47	100.0%

### 独自の対策（例）

- ・失語症者等やその家族に対する支援や患者・家族会への支援
- ・医療的ケア児への支援
- ・脳卒中・心臓病等総合支援センターを設置し、循環器病患者に対する情報提供・支援体制を整備する。など

### 再発・重症化予防

	回答数	割合
独自の対策がある	6	12.8%
独自の対策はない	34	72.3%
無回答	7	14.9%
合計	47	100.0%

### 独自の対策（例）

- ・県下統一でICT運用している「脳卒中地域連携バス」の普及を支援している。など

### ②心血管疾患について

#### 予防・啓発

	回答数	割合
独自の対策がある	13	27.7%
独自の対策はない	31	66.0%
無回答	3	6.4%
合計	47	100.0%

### 独自の対策（例）

- ・循環器病による生活機能低下の予防に関する正しい知識の普及啓発について、健康づくりの県民運動「健康立県ヘルスプロモーションプロジェクト」を実施。

### 救護

	回答数	割合
独自の対策がある	7	14.9%
独自の対策はない	36	76.6%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

### 独自の対策（例）

- ・健康増進計画等の他計画で設定している関係する評価指標を取り入れている。など

### 急性期

	回答数	割合
独自の対策がある	11	23.4%
独自の対策はない	32	68.1%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

### 独自の対策（例）

- ・心血管疾患に係る救急医療を含めた医療提供体制の現状把握のため、県内の医療機関への調査・分析を行っている。
- ・中山間地・離島地域との遠隔医療体制の構築に向けたためネット等のICTの活用など

### 回復期

	回答数	割合
独自の対策がある	9	19.1%
独自の対策はない	35	74.5%
無回答	3	6.4%
合計	47	100.0%

### 独自の対策（例）

- ・心臓リハビリテーションの推進のため、医療機関に対する心臓リハビリテーション設備整備事業及び市町村に対する心臓リハビリテーション推進事業を行っている。など

### 維持期・生活期/慢性期

	回答数	割合
独自の対策がある	10	21.3%
独自の対策はない	33	70.2%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

### 独自の対策（例）

- ・医療連携体制構築のため、医療従事者、在宅医療・介護従事者向けに各セミナーを開催している。
- ・治療と仕事の両立支援を推進する企業や事業所を支援するため、「治療と仕事の両立支援推進企業認定事業」を行っている。など

### 再発・重症化予防

	回答数	割合
変更があった	8	17.0%
変更はなかった	34	72.3%
無回答	5	10.6%
合計	47	100.0%

### 独自の対策（例）

- ・県民に対して、心臓病の再発予防のために、心臓リハビリテーションが重要であるとの認知度の調査を行っている。
- ・大学及び「心不全連携の会」と連携して、心不全患者の1年以内の再入院率のデータの集約支援を行って

(2) 第2期循環器病対策推進計画において、第1期の評価を踏まえて、新たに立ち上げたり、見直した事業はありますか。脳卒中、心血管疾患のそれぞれについてご回答ください。

#### ①脳卒中について

##### 予防・啓発

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	18	38.3%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	27	57.4%
無回答	2	4.3%
合計	47	100.0%

### 新規に立ち上げたり見直した事業（例）

- ・県の事業変更に伴い、運動・食事・禁煙・健診の4つの柱で健康づくりアプリの活用・普及による県民の自主的な健康づくりを推進。
- ・脳卒中・心臓病等総合支援センターとの連携の追加など

#### 救護

##### 新規に立ち上げたり見直した事業（例）

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	8	17.0%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	35	74.5%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

### 新規に立ち上げたり見直した事業（例）

- ・脳卒中・心臓病等総合支援センターとの連携の追加
- ・新興感染症発生・まん延時や災害等の有事を見据えた対策の追加
- ・脳卒中の県統一プロトコールの策定 など

#### 急性期

##### 新規に立ち上げたり見直した事業（例）

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	9	19.1%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	34	72.3%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

### 新規に立ち上げたり見直した事業（例）

- ・ICTを活用した医療連携ネットワークの構築に向けて、急性期医療機関への医療コミュニケーションアプリの導入を図る事業を新たに立ち上げた など

#### 回復期

##### 新規に立ち上げたり見直した事業（例）

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	6	12.8%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	36	76.6%
無回答	5	10.6%
合計	47	100.0%

### 新規に立ち上げたり見直した事業（例）

- ・脳卒中手帳（仮称）の検討
- ・急性期以後の医療機関における診療及び在宅医療の強化
- ・循環器病患者の生活期に係る支援の強化（治療と就労の両立支援） など

#### 維持期・生活期/慢性期

##### 新規に立ち上げたり見直した事業（例）

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	8	17.0%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	34	72.3%
無回答	5	10.6%
合計	47	100.0%

### 新規に立ち上げたり見直した事業（例）

- ・循環器病に関する相談支援体制の整備、地域医療体制の整備及び医療連携体制の強化を推進するために、脳卒中・心臓病等総合支援センター事業を開始した。
- ・治療と仕事の両立支援事業を新たに立ち上げた。など

#### 再発・重症化予防

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	9	19.1%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	34	72.3%
無回答	4	8.5%
合計	47	100.0%

#### 新規に立ち上げたり見直した事業（例）

- ・歯周病に起因する循環器病の重症化予防のため、医科歯科連携の推進に取り組む など

#### ②心血管疾患について

##### 予防・啓発

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	19	40.4%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	26	55.3%
無回答	2	4.3%
合計	47	100.0%

#### 新規に立ち上げたり見直した事業（例）

- ・令和6年度から、将来の高血圧対策の一環で、高校生向けに血圧講話及び血圧測定を実施 など

#### 救護

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	8	17.0%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	32	68.1%
無回答	7	14.9%
合計	47	100.0%

#### 新規に立ち上げたり見直した事業（例）

- ・救命講習等の実施は各市町が主体となり市民が修了しやすい環境整備が進んだため項目として削除。
- ・AEDの設置推進も普及が進んだため項目として削除。など

#### 急性期

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	6	12.8%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	34	72.3%
無回答	7	14.9%
合計	47	100.0%

#### 新規に立ち上げたり見直した事業（例）

- ・不整脈のカテーテルアブレーションについて、各二次保健医療圏域で実施できる体制の推進 など

#### 回復期

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	7	14.9%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	33	70.2%
無回答	7	14.9%
合計	47	100.0%

#### 新規に立ち上げたり見直した事業（例）

- ・心臓リハビリテーションのさらなる推進のために、医療機関に対して、心臓リハビリテーション実態調査を行った。
- ・心不全患者の生活行為パンフレットの活用普及 など

#### 維持期・生活期/慢性期

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	10	21.3%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	30	63.8%
無回答	7	14.9%
合計	47	100.0%

#### 新規に立ち上げたり見直した事業（例）

- ・脳卒中に関する訪問看護ステーションの地域情報交換会の開催（令和7年度～）
- ・先天性心疾患を診ることができますための人材育成や、先天性心疾患に係る実態の把握等、基盤整備を推進（成人先天性心疾患医療提供体制整備事業）など

#### 再発・重症化予防

	回答数	割合
新規に立ち上げたり見直した事業がある	10	21.3%
新規に立ち上げたり見直した事業はない	31	66.0%
無回答	6	12.8%
合計	47	100.0%

#### 新規に立ち上げたり見直した事業（例）

- ・「急性冠症候群再発予防フロー」の作成・普及
- ・循環器病の発症予防や人工透析への移行を防止するとともに医療費の適正化を図ることを目的に、循環器病CKD重症化予防事業を開始予定（R7年度） など

(3) 循環器病対策推進計画の策定・評価・見直しにあたって、パブリック・コメント（意見公募）を実施しましたか。

①脳卒中について

【第1期循環器病対策推進計画について】

	回答数	割合
実施していない	0	0.0%
実施した	47	100.0%
無回答	0	0.0%
合計	47	100.0%

【第2期循環器病対策推進計画について】

	回答数	割合
実施しておらず、実施予定もない	0	0.0%
実施していないが、今後実施予定	0	0.0%
実施した	46	97.9%
無回答	1	2.1%
合計	47	100.0%

②パブリック・コメントの結果を踏まえて、どのような内容を検討したり、計画に反映しましたか。

該当する欄に具体的な内容をご記入ください。

【第1期循環器病対策推進計画について】

- ・脳血管疾患及び心疾患の指標に、「食塩摂取量の平均値（g）」、「野菜摂取量の平均値（g）」、「運動習慣者の割合（%）」を追加
- ・救急隊への脳卒中教育に関する記載を追加
- ・診療科別の医師数にリハビリテーション科を追加
- ・維持期において、失語症等の高次脳機能障害をもつ患者さんへの意思疎通支援や就労支援などの記載を追加
- ・「循環器病の中には、100人に1人の割合で出生する先天性心疾患や小児不整脈、小児脳卒中といった小児期・若年期から配慮が必要な疾患がある」「肥満をはじめとする成人病リスク因子を有する小児・若年者が潜在している」旨の記載を追加
- ・受動喫煙対策についての検討(管理権限者等に対する周知、喫煙と健康に関する必要な情報提供等)
- ・二次医療圏ごとの心疾患・脳血管疾患死亡率を明示し、重点的に対策を講じるべきエリアを明らかにしてほしいとの意見があったが、第一次計画では、まずは全県的に発症予防等に取組み、次期計画に向けた統計データの分析や地域性を考慮した施策について研究を進めいく方向で整理したため、反映せず。
- ・計画に脂質異常症に関する評価指標を追加(健康日本21第2次参考に設定)
- ・健康寿命の延伸、循環器病の減少のための、県有施設における禁煙、禁煙治療の推進、受動喫煙防止など、たばこ対策に関する意見を多数得たことから、市町村、県、国の役割を整理して返答するとともに、関連計画との整合性を図りながら取組みを推進することとした。
- ・循環器病という言葉が一般の人々に伝わらない恐れがある旨の意見を踏まえ、循環器病の定義について追記した。
- ・施策に記載していた「高血圧、心房細動等の未受診者対策や必要に応じた保健指導などの推進」に弁膜症を追記してほしい旨の意見を踏まえ、心臓弁膜症という文言を追記した。など

【第2期循環器病対策推進計画について】

- ・「専門的な脳卒中医療」を提供する医療機関、「身近な脳卒中医療」を提供する医療機関がわかりにくいため、具体的に医療機関名と役割を追加
- ・デジタル技術を効果的に活用した救急搬送の円滑化や、関係者と連携したドクターヘリの効率的な運航に努める。
- ・循環器病患者の就労支援、就労継続支援につきましては、県脳卒中・心臓病等総合支援センター等の関係機関と連携し、就労を支援する団体に関する情報収集などを推進していく。
- ・特定健康診査、特定保健指導の実施率向上等に向けた取組について検討することとした。
- ・循環器病発症の要因に、悪性腫瘍の既往や治療後を付け加えてほしいという意見があり、循環器病発症の要因に追加した。
- ・循環器病の緩和ケアに、重篤な心不全に対して植込型人工心臓（DT:Destination Therapy）適用となったことと、それをふまえ、患者・ケアギバーを支える多職種チームの必要性も生じていることを記載してほしいという意見があり、今後の取組の参考とした。
- ・急性心筋梗塞と大動脈瘤及び解離の危険因子について記載した。
- ・減塩などの生活習慣の改善を引き続き推進するとともに、効果的な循環器病の予防の普及啓発に取り組んでいくこととした。
- ・「心臓リハビリは運動療法だけでなく、薬物療法、心理療法、教育を含めた包括的な疾病管理プログラムであり、県民の大血管疾患の2次予防、予防改善に寄与するものと思われる。回復期、維持期のリハビリテーション実施率向上に向けての取組を盛り込んでほしい。」との意見を受け、心臓リハビリテーションの実施率向上に向け、地域医療介護総合確保基金を活用した回復期リハビリテーション病床の整備や心大血管リハビリテーションの専門的知識と技術を持つ医療人材の育成を図ることを盛り込むこととした。

③パブリック・コメントの結果についてどのようにフィードバックしていますか。※複数回答

	回答数	割合
意見や反映結果をホームページ等で公開している	45	95.7%
意見や反映結果を会議等で説明している	25	53.2%
その他	1	2.1%
特にフィードバック等は行っていない	1	2.1%
無回答	0	0.0%
合計	47	

4. 循環器病対策を実施する上で課題

(1) 貴都道府県における循環器病対策を実施する上で課題となっていることは何ですか。当てはまるものをすべてお選びください  
※複数回答

	回答数	割合
循環器病対策を協議する場でステークホルダーからの積極的な参画・関与が得られない	3	6.4%
事業を行うための予算が不足している	22	46.8%
事業を企画・立案する上でのエビデンス等の根拠が十分ではない	16	34.0%
地域における循環器病対策に関する課題を把握できていない	16	34.0%
市町村との情報共有・連携ができていない	14	29.8%
関係機関との連携や合意形成に時間がかかる	14	29.8%
住民や事業者への循環器病対策に関する普及啓発が十分でない	32	68.1%
その他	12	25.5%
特に課題はない	1	2.1%
無回答	0	0.0%
合計	47	

「その他」の具体的内容

- ・マジハツー不足
- ・必要なデータ収集及びそれらのデータ分析が十分できていない
- ・地域ごとの健康格差の原因が正確に分析できないため、県全域での支援体制の構築が課題。
- ・循環器の緩和ケアの推進について（がん分野とどのように連携しながら推進していくか）
- ・今後、脳卒中・心臓病等総合支援センターを核とし、地域の医療機関や支援機関と連携・役割分担しながら、どのように予防や再発リスクの高い人たちへ効果的な啓発や相談支援体制を推進していくか。
- ・具体的な政策が明確化されていないため、実施することが難しい、そのため、予算確保することもできない。
- ・ロジックモデルにおける項目は、行政の関与が難しい項目が多く、選択することができない。（数値を上げるための政策立案の紐づけができない）
- ・予算化できている事業が少ない。
- ・循環器病対策に特化した事業として予防や初期症状の普及啓発以外に、県民や患者目線で特にどういった事業に需要があるのか分からぬ。
- ・ステークホルダーは県内基幹病院の急性期の医療関係者が多く、循環器病の多くが急激に発症して早急に適切な治療が必要という特徴もあることから、救急医療や急性期医療における議論は活発になることに比べる。それに比べて回復期以降については、循環器病対策としてどのような事業が特に効果的なのかよく分からぬ部分がある。
- ・脳卒中・心臓病等総合支援センターの設置に向け、R8年度以降（2年目以降）の予算確保に苦慮している。既に設置されている都道府県での予算確保状況の差も大きく、なかなか参考にできない状況。
- ・厚生労働省からの医療計画作成支援データブックを使用して計画の評価を行っているが、指標の変更が多く、経年的な評価が困難となっている。
- ・関連機関の循環器病対策の理解も十分でない
- ・循環器病対策を検討する上で、予防と医療の両輪で対応する必要があるが、医療面の検討が十分ではない。